

GAPに関する食品関係事業者の意識・意向調査 結果概要

平成29年度食品産業動態調査（国産原材料使用実態等調査・分析業務）

1 調査の目的

農業者によるGAPの取組・認証取得の拡大に向けて、食品関係事業者のGAPに関する意向等を把握するためアンケート調査を実施。

2 調査の概要

- ・調査対象：国内の食品関係事業者
- ・有効回答数：1,066（食品製造業348、食品卸売業363、食品小売業284、外食業71）
- ・調査日：平成29年10月～11月
- ・調査方法：4,000事業者に郵送
- ・調査地域：全国

3 主な回答結果

※ 詳細結果は農林水産省ホームページ御参照。

http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/index_gap_survey.html



(1)GAPの認知度について

設問：本調査以前からGAPについてご存知でしたか。（○はひとつ）

知っていた	40.0%
聞いたことはあるが、内容は知らなかった	33.5%
知らなかった	26.5%

（有効回答数：1,066）

※ 食品製造業においては約50%が知っていたと回答。

（有効回答数：348）

【参考】平成24年「農業生産工程管理（GAP）及び環境に配慮した農産物に関する意識・意向調査」（流通加工業者 有効回答数：535）

※ 左記の調査とは対象・方法が異なることに留意

■ GAPの認知度について

- ・ 知っていた 23.6%
- ・ 聞いたことはあるが、内容は知らなかった 36.3%
- ・ 知らなかった 40.2%

(2)GAP認証取得等農畜産物の取扱について

設問：貴社では、GAP認証取得等農畜産物を仕入れていますか。一品目でもGAP認証取得等農畜産物を扱っていれば該当箇所に○をつけてください。（○はひとつ）

※ GAP認証取得等農畜産物とは、GAP認証（GLOBAL G. A. P.、ASIAGAP/JGAP）を取得した農場又は都道府県GAP等に取り組む農場で生産された農畜産物のことです。

A	取引要件にして、仕入れている	2.3%
	取引要件ではないが、取引の際に優先的に仕入れている	2.6%
	取引要件や優先取引要件とはしていないが、仕入れている	11.5%
B	仕入れていない	38.4%
	わからない	43.7%
	無回答	1.5%

【参考】平成24年「農業生産工程管理（GAP）及び環境に配慮した農産物に関する意識・意向調査」（流通加工業者 有効回答数：525）

※ 左記の調査とは対象・方法が異なることに留意

■ 取引上の参考としてGAPの活用意向

- ・ 既に取り引の参考としている 6.7%
- ・ 取引上の参考として活用する意向がある 55.0%
- ・ 取引上の参考として活用する意向はない 38.3%

（有効回答数：1,066）

(2)GAP認証取得等農畜産物の取扱について(続き)

A 「仕入れている」を選択した方

設問：GAP認証取得等農畜産物を仕入れている目的・理由についてお伺いします。(○はいくつでも)

食品の安全性がより一層高まるため	62.3%
より優れた品質の農畜産物を仕入れるため	29.7%
取引先や消費者に説明できるため	27.4%
企業の社会的責任を果たすため	23.4%

※ 回答数上位4つの回答のみ記載

(有効回答数：175)

設問：GAP認証取得等農畜産物に関する今後の仕入れ量の増減の意向についてお伺いします。(○はひとつ)

国産のGAP認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向がある	36.6%
国産か外国産を問わずGAP認証取得等農畜産物の仕入れ量を増やす意向がある	20.6%
現状維持の意向がある	39.4%
減らす意向がある	0%
取扱をやめる意向がある	0%
無回答	3.4%

(有効回答数：175)

B 「仕入れていない・わからない」を選択した方

設問：今後、GAP認証取得等農畜産物を仕入れる意向はありますか。(○はひとつ)

取引要件として、仕入れる意向がある	4.1%
取引要件とはしないが優先的に仕入れる意向がある	17.5%
仕入れる予定はない	20.5%
その他・わからない	53.6%
無回答	4.3%

(有効回答数：875)

設問：GAP認証取得等農畜産物を仕入れない理由をお答えください。(○はいくつでも)

GAP認証取得等農畜産物の生産者または産地に関する情報が不足しているため	38.7%
需要がないため	33.2%
数量の確保が困難であるため	9.3%
仕入れ単価が高いため	7.6%

(有効回答数：648)